

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 4 区分
【発行日】 令和 7 年 6 月 12 日 (2025.6.12)

【国際公開番号】 WO2024/122408
【出願番号】 特願 2024-562708 (P2024-562708)
【国際特許分類】
H02K 1/14 (2006.01)
【FI】
H02K 1/14 Z

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 7 年 3 月 26 日 (2025.3.26)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

20

回転電気機械に用いられる磁性体コアであって、
第 1 方向に延びる形状を有するティース部を備え、
前記ティース部は、コイルが巻回された被巻回部を含み、
前記被巻回部は、
前記コイルが巻かれる過程で当該コイルが通過する第 1 凸角と、
前記コイルが前記第 1 凸角を通過する前に接触する第 1 接触面であって、前記第 1 方向
に視て、第 2 方向に突出するように湾曲する形状を有する第 1 接触面と、
前記コイルが接触しない第 1 非接触面であって、前記第 1 接触面との境界が前記第 1 凸
角である第 1 非接触面と、
前記コイルが前記第 1 凸角を通過した後に接触する第 2 接触面であって、前記第 1 方向
に視て、前記第 2 方向と異なる第 3 方向に突出するように湾曲する形状を有する第 2 接触
面と、
を有する、
磁性体コア。

30

【請求項 2】

前記被巻回部は、
前記第 1 凸角とは異なる凸角であり、前記コイルが前記第 2 接触面を通過した後に通過
する第 2 凸角と、
前記コイルが接触しない第 2 非接触面であって、前記第 2 接触面との境界が前記第 2 凸
角である第 2 非接触面と、
を更に有し、
前記コイルは、前記第 2 凸角を通過した後に再び前記第 1 接触面に接触する、
請求項 1 に記載の磁性体コア。

40

【請求項 3】

前記第 1 接触面及び前記第 2 接触面のそれぞれは、前記第 1 方向に視て、半楕円状を有
する、
請求項 1 又は請求項 2 に記載の磁性体コア。

【請求項 4】

前記第 1 接触面の半径と前記第 2 接触面の半径とは、互いに等しい、
請求項 3 に記載の磁性体コア。

50

【請求項 5】

前記被巻回部は、前記第 1 方向に視て、点対称な形状を有する、
請求項 1 又は請求項 2 に記載の磁性体コア。

【請求項 6】

回転電気機械に用いられる磁性体コアであって、
第 1 方向に延びる形状を有するティース部を備え、

前記ティース部は、コイルが巻回された被巻回部を含み、

前記被巻回部は、

前記コイルが巻かれる過程で当該コイルが通過する第 1 凸角と、

前記コイルが前記第 1 凸角を通過する前に接触する第 1 接触面であって、前記第 1 方向
に視て、第 2 方向に突出するように湾曲する形状を有する第 1 接触面と、 10

前記コイルが前記第 1 凸角を通過した後に接触する第 2 接触面と、

前記第 1 接触面と前記第 2 接触面との間に設けられていて前記コイルが接触しない第 1
非接触面であって、前記第 2 接触面との境界が前記第 1 凸角である第 1 非接触面と、

前記第 1 凸角とは異なる凸角であり、前記コイルが前記第 2 接触面を通過した後に通過
する第 2 凸角と、

前記コイルが前記第 2 凸角を通過した後に接触する第 3 接触面であって、前記第 1 方向
に視て、前記第 2 方向と異なる第 3 方向に突出するように湾曲する形状を有する第 3 接触
面と、

前記第 1 非接触面とは異なる非接触面であり、前記第 2 接触面と前記第 3 接触面との間
に設けられていて前記コイルが接触しない第 2 非接触面であって、前記第 2 接触面との境
界が前記第 2 凸角である第 2 非接触面と、 20

を有し、

前記第 2 方向についての前記第 1 接触面の先端の位置と、前記第 3 方向についての前記
第 3 接触面の先端の位置とは、前記第 1 方向及び前記第 2 方向に直交する第 4 方向におい
てずれている、

磁性体コア。

【請求項 7】

前記被巻回部は、

前記第 1 凸角及び前記第 2 凸角のそれぞれとは異なる凸角であり、前記コイルが前記第
3 接触面を通過した後に通過する第 3 凸角と、 30

前記コイルが前記第 3 凸角を通過した後に接触する第 4 接触面と、

前記第 3 接触面と前記第 4 接触面との間に設けられていて前記コイルが接触しない第 3
非接触面であって、前記第 4 接触面との境界が前記第 3 凸角である第 3 非接触面と、

前記第 1 凸角、前記第 2 凸角及び前記第 3 凸角のそれぞれとは異なる凸角であり、前記
コイルが前記第 4 接触面を通過した後に通過する第 4 凸角と、

前記第 3 非接触面とは異なる非接触面であり、前記第 4 接触面と前記第 1 接触面との間
に設けられていて前記コイルが接触しない第 4 非接触面であって、前記第 4 接触面との境
界が前記第 4 凸角である第 4 非接触面と、

を更に有し、 40

前記コイルは、前記第 4 凸角を通過した後に再び前記第 1 接触面に接触する、

請求項 6 に記載の磁性体コア。

【請求項 8】

前記第 1 接触面及び前記第 3 接触面のそれぞれは、前記第 1 方向に視て、半楕円状を有
する、

請求項 6 又は請求項 7 に記載の磁性体コア。

【請求項 9】

前記第 1 接触面の半径と前記第 3 接触面の半径とは、互いに等しい、

請求項 8 に記載の磁性体コア。

【請求項 10】

前記被巻回部は、前記第 1 方向に視て、点対称な形状を有する、
請求項 6 又は請求項 7 に記載の磁性体コア。

【請求項 1 1】

前記第 2 接触面は、前記第 1 非接触面及び前記第 2 非接触面のそれぞれと切欠き面を介して繋がる、

請求項 6 又は請求項 7 に記載の磁性体コア。

【請求項 1 2】

前記第 4 接触面は、前記第 3 非接触面及び前記第 4 非接触面のそれぞれと切欠き面を介して繋がる、

請求項 7 に記載の磁性体コア。

10

【請求項 1 3】

前記ティース部は、軟磁性粉から形成された成形体である、

請求項 1、請求項 2、請求項 6、請求項 7 及び請求項 1 2 のいずれかに記載の磁性体コア。

【請求項 1 4】

請求項 1、請求項 2、請求項 6、請求項 7 及び請求項 1 2 のいずれかに記載の磁性体コアと、

前記コイルと、を備える、

コイル付き磁性体コア。

【請求項 1 5】

請求項 1、請求項 2、請求項 6、請求項 7 及び請求項 1 2 のいずれかに記載の磁性体コアを備える、

回転電気機械。

20

【請求項 1 6】

請求項 1、請求項 2、請求項 6、請求項 7 及び請求項 1 2 のいずれかに記載の磁性体コアを備える、

ブラシレスモータ。

30

40

50